



## News

### 春は移動の季節です

引っ越しなどで、住所・電話番号が変わった場合は、登録内容の変更手続きが必要です。図書館のカウンターへお申出ください。（新しい住所が確認できるものをお持ちください）

### 貸出期間・冊数についてのお知らせ

3月末までにしておりました貸出期間の延長と冊数を当分の間、下記の通りにいたします。

**図書・雑誌：20冊貸出・3週間**

## 図書館カレンダー - 【4月】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

毎週月曜日は休館日です。第3木曜日は、館内整理休館日です。29日は祝日休館です。

## 今月の展示

### # 小説

歴代本屋大賞特集

### # 実用書

新生活を応援します！

通園・通学グッズ

食卓から元気をつくる

## 西館日和



先月から新型コロナウイルス感染防止策として小学生から高校生までのみなさんの入館を制限しなければならず、児童コーナーもひっそりとしてとてもさみしい状況が続いています。例年この季節は春を迎え卒業式や入学式など喜びや希望に満ちたニュースでにぎわうはずなのですが、今年はコロナウィルスのニュース一色です。世界全体が、いつまで続くのか先の見えない不安に包まれています。また、こんな状況につけてきたデマが流れ、心ない差別も起きています。

感染を広げないために私たち一人一人にできる対策は、手をよく洗うことと、咳エチケットを守ることです。幸いに県内では落ち着いた生活を送ることができています。これからも油断することなく予防に努め、早く通常の状態の図書館に戻りたいと思っています。

分館長 池田

## おすすめの一冊

### 『短歌の詰め合わせ』

東直子／文 若井麻奈美／絵 （アリス館）

『「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日』。

皆さん、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。俵万智さんの代表的な短歌です。短歌とは、五七五七七の三十一音から成る定型詩のことで、元々は「和歌」と呼ばれ、古くから親しまれてきました。俳句のように季語は必要なく、作者個人の感覚や感情を風景や物に絡めて詠むことが主流です。この本では、身近なテーマに沿ってくすっと笑えたり、心があたたかくなるような作家の歌がたくさん紹介されています。その中のひとつに永田和宏さんの「らりるれり言ってごらんとその母を真似て娘は電話のむこう」という歌があります。電話をかけてきた父が酔っているか、母の真似をして尋ねる娘。微笑ましい家族の一コマが目につかびます。何気ない生活の中でこんなことも題材になるのだと思うと同時にささやかな幸せに気付かせてくれます。短歌の紹介の他にも歴史やドリルなどもあり、短歌の面白さに触れさせてくれる一冊になっています。(K)

## 新刊ピックアップ!

『人類はなぜ<神>を生み出したのか?』	レザー・アスラン	文藝春秋
『一冊でわかるフランス史』	福井 憲彦／監修	河出書房新社
『公文書管理と民主主義』	瀬畑 源	岩波書店
『裁判官も人である』	岩瀬 達哉	講談社
『エンド・オブ・ライフ』	佐々 涼子	集英社
『こどもホスピス』	田川 尚登	新泉社
『ワンピースの基本パターン集』	野木 陽子	日本ヴォーグ社
『日本の美しいことばと配色』	南雲 治嘉	グラフィック社
『よその島』	井上 荒野	中央公論新社
『生きるための辞書』	北方 謙三	新潮社
『仮面病棟』	知念 実希人	実業之日本社
『アルジャーノンに花束を』	ダニエル・キイス	早川書房

この他にもたくさんあります！ 貸出中の本には予約ができます。ぜひご利用ください。

